

# 志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ 「イマジン ロータリー」  
 2021-22年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀 「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」  
 2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎 「新たな一歩」

## 第2342回 移動例会 2022-7-6

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 田中 幸彦 SAA
- ◎四つのテスト 田中 幸彦 SAA

### 「会長挨拶」

会長 小林八郎



今年度、創立 51 年目の一歩となる志木ロータリークラブの会長を仰せつかりました、小林八郎です。

私は、2009年9月に入会以来、多くの諸先輩方からロータリー精神を学ばせていただきながら、志木の代表的な活動と捉えております「川と街をきれいにする運動」、故西川武重郎元ガバナーらが創設した「ロータリー希望の風」への取り組みなど、微力ながら力を注いで参りました。

さて、今年度のRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏は、「イマジン ロータリー」をテーマとされ、「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」と呼びかけています。

そこで、今年度、私のクラブテーマを「新たな一歩」といたします。詳しくは、会長ア



### 「引継式」



例会に先立ち、清水和之前会長から小林八郎会長に、市之瀬正靖前副会長から三上隆俊副会長に、國分学前幹事から吉原正幹事に、タスキ、バッジの引継ぎと、新役員から旧役員へ記念品の贈呈がありました

ワーで述べさせていただきますが、次なる 50 年に向けて、会員同士、あるいは会員候補の方とのつながりを一層深め、可能な限り、親睦の強化を図ります。さらに、持続可能な開発目標である SDGs も見据えながら、将来へとつなぐ新たな一歩について、各人それぞれがアイデアを持ち寄り、英知を絞りながら、考える 1 年にしたいと思います。会員皆様の更なるご指導ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、志木ロータリークラブの「志(し)」、志木市の「志(し)」の字である「こころざし」について、改めて考えてみました。

人はよく、「志高く」とか、「志の高い人」という言葉を使います。辞書を引いてみますと、「志が高い」には、「高い目標を持っている」、「物事をしようとする意欲にあふれている」という意味があります。

また、「志(こころざし) 合えば胡越(こえつ)も昆弟(こんてい)たり」という、『漢書』の言葉から引用された、ことわざがあります。

これは、こころざしが合えば、北方の胡(こ)の者も南方の越(えつ)の者と兄弟のようになれるという意味だそうです。つまり、「志が一致すれば、遠くの人や他人同士でも兄弟のように親しくなれる」ということです。

また、ある人が、3つの円を書いて「志(こころざし)」について説明されていました。その円とは、1つ目は、自分自身が楽しいこと、好きなこと、2つ目は、自分自身が得意なこと、行動できること、そして3つ目は他人や社会から求められること、やってもらいたいことの円であり、その3つの円が重なる部分が「志」としてとらえていました。図で示すと分かりやすいのですが、3つ全部が夢であり、自分自身が楽しくやりたいこと、得意であり、そして社会が求めていることの部分の集合体が「志」となるわけです。

さらに、その3つの集合部分が大きく成長すれば、志(こころざし)が「大志(たいし)」

になるとその人は言っています。クラーク博士の「少年よ大志を抱け」という言葉は有名ですが、実はその続きがあって、「少年よ大志を抱け。それは金銭や私欲のためではなく、また人呼んで名声という空しいもののためであってはならない。人間として当然そなえていなければならぬ、あらゆることを成し遂げるために大志を抱け」とあります。

では、志木ロータリークラブのメンバーとして私たちの大志とは何でしょうか？ また社会や地域の人々が志木クラブに求めていることは何でしょうか？ そのようなことも考える1年、「新たな一歩」を考える1年に出来たらと思っています。

これから一年間会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。一年間宜しく願いいたします。

#### 「理事会報告」(7/6分) 会長 小林八郎

1) 志木市役所竣工祝の市民新報社への広告掲載の件

⇒4万円の枠に申し込みを行う

2) 2022-23 ガバナー公式訪問実施要領について

予定通り実施する

7/27(水) ガバナー補佐訪問

8/3(水) ガバナー公式訪問

大村会員には3年未満会員としてガバナーとの懇談会に参加して頂く

ガバナー補佐訪問の際に行うクラブ協議会では、ガバナー発信のテーマに基づいてクラブ奉仕部門の各委員長より発表を行っていただき、ガバナー補佐には総評をいただくこととする。

3) その他

①8/3(水)に小諸ロータリークラブ会長が表敬訪問で志木ロータリークラブの例会に参加する。それに対して志木ロータリークラブからは小諸ロータリークラブの納涼例会に参加する。

②8/24(水) 暑気払い例会として夜間の移動例会を開催する。

③7/12(火) 志木市役所新庁舎竣工式には小林会長が代表で参加する。

### 「前年度地区役員表彰伝達」 会長 小林八郎



國分学、西浦建貴、西川和人、田中幸彦各会員

### 「幹事報告」

幹事 吉原 正



1. 地区事務所より 2 件受信  
①ガバナー及び地区幹事より新年度の挨拶  
②社会奉仕委員会・子ども家庭委員会合同セミナー開催の案内
2. 本庄 RC より事務局移転の知らせ受信  
新事務局：〒367-0021 埼玉県本庄市東台 2-3-1 KRS 本庄ビル 4F
3. 第2 グループガバナー補佐より IM の残金次年度へ繰越
4. ロータリー文庫運営委員会より新年度に当たり各クラブへ文書配信の願い
5. 志木市観光協会より令和4年度志木市観

光協会通常総会書面議決の結果通知受信

6. 公益財団法人埼玉県腎・アイバンク協会 第33回総会資料受信

7. C.P.I より志木 RC2022 年度里子情報レポート受信

### 「委員会報告」

●社会奉仕委員会

委員長 遠藤貴博



7月8日、26日、朝9:00～12:00いろは親水公園にて除草作業を行ないます。皆様の参加協力を宜しくお願い致します。

●親睦活動委員会

委員長 宮田泰彦



### 暑気払い例会のお知らせ

日時：8月24日(水) 18:00～

場所：鯉清

尚、コロナの関係により自主参加ということでとり行いたいと思いますが、新入会員の歓迎会や事務局員の交代もありますので、併せて開催したいと思いますので、宜しくお願い致します。またコロナの状態により今後考えて参りたいと思います。

●年度計画書作成チーム

尾崎征男



2022～2023 年度計画書 発刊について

小林年度初例会に合わせ、ここに計画書を配布いたしました。表紙は「江戸名所図繪」を緑の背景色に会長の造園業を反映した色を取り入れました。

内容の特色は3有ります

- ①従来 90 頁を 62 頁にスリム化 (従前の記録は 50 年史参照)
- ②P29 地区役員組織図は地区より連絡無く、届き次第各自にて糊付
- ③P37 会員の年度別役員・委員担当一覧表は入会順に掲載

「今月の誕生日祝」 親睦活動委員長 宮田泰彦



- 10日 清水良介会員
- 13日 尾崎征男会員
- 14日 深澤好文会員
- 27日 内山雄二郎会員

「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌委員会 副委員長 神山昌之

『ロータリーの友』7月号記事紹介



【横組】

P6～ RI 会長 紹介 一連の記事

P44 日本の食卓

P52 ニュージェネレーション

P60 地区会員数一覧表

【縦組】

P20～ ロータリーアットワーク

P17 千玄室

「卓話」

「会長アワー 『新たな一歩』」

会長 小林八郎

改めまして、今年度の私のテーマ『新たな一歩』について、説明をさせていただきます。結論から先に申しますと、志木ロータリーの近未来につなげる新たな一歩を考える一年とし、今年度の柱としたい取り組みは、極めてシンプルに「親睦と増強」といたします。

さて、今年度の RI 会長ジェニファー・ジョーンズ氏は、「イマジン ロータリー / Imagine Rotary」をテーマとされました。これは、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすことであります。さらにジョーンズ会長は、「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」と呼びかけています。

また、今年度の村田ガバナーは、地区スロ

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

◇2342-4  
志木 RC 会報

■和光RC

毎週(月) 12:30～13:30 郵便事業(株)和光支店3F

事務局 048-465-0088

■朝霞キャロットRC

第2第4(月) 19:00～20:00 スマイルホテル 3階ホール

事務局 048-470-6811



ーガンを「地域と世界でつながる力を磨き 奉仕を实践しよう」とされ、次のようにおっしゃっています。

「想像をしてください。クラブの5年後、10年後もしくは15年後…、クラブ会員は増えていますか？時代に即した魅力あるクラブになっているのでしょうか？」と村田ガバナーは問いかけます。これは、地域の他団体とのつながりを高め、知り合いを広めることにより奉仕の機会とすることの実践が、我々に期待されていると考えています。

そこで、今年度、私のクラブテーマを「新たな一歩」といたします。約3年以上と長きにわたるコロナ禍の中、人と人とのつながりが希薄になったといわれます。次の50年に向けて老・壮・青のつながりを一層深め、可能な限り、親睦の強化を図ります。さらに、持続可能な開発目標であるSDGsも見据えながら、将来へとつなぐ新たな一歩について、それぞれが考える1年にしたいと思います。会員皆様のご更なるご指導ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、私が入会した2009年を振り返ると、当時、2010～11年度のガバナー予定者の西川武重郎さんから、志木クラブの会員が50人くらいは必要という話を、双葉町にかつてあった「司」というお店で聞き、私と吉原正さんが入会することになりました。

2009年の9月に入会してすぐの10月には、

カナダのモントリオール世界大会への参加、また、東日本大震災のあった年の西川ガバナー一年度では、西川ガバナーのお付きとして、約14のクラブを回るという貴重な経験もさせていただきました。

その後3.11が発生し、西川ガバナーは、地区大会などのすべて行事を中止するという英断をされました。地区大会にかかる費用を、被災地への応援にまわすといわれました。それが「ロータリー希望の風」につながり、今に至っています。西川さんからタスキを受け継いだ西川和人さんによると、希望の風奨学金は、震災孤児などの皆さんが大学・短大・専門学校を入学から卒業まで、毎月5万円を継続して給付し、返還を求めないものです。現在141名に奨学金を支給していると、西川さんから4月の卓話で報告されました。

埼玉りそな銀行の例会会場の壁にかかっている、「生きているといいね。ママ、お元気ですか。」と、書いて眠ってしまった昆愛海ちゃんの絵を改めて見つめ、将来に向けて夢を膨らませる次世代の若者のために、希望の芽が枯れることなく、協力していきたいと思えます。

また、西川ガバナーの想いである、ささやかでも協力できる喜び、さらには、人のために奉仕し、そこから得た喜びこそ、人としての真の喜びであり、「ロータリーの心と原点はここにあり」という西川さんの想い、「志」を今後もしっかりとつなげていけますよう、ご協力をお願いいたします。

さて、しっかりとつなげている活動といえば、志木クラブの代表的な取り組みとして第一にあげられるのは、いうまでもなく「川と街をきれいにする運動」です。これは、環境団体と志木クラブで独自に行っているロータリー森の清掃活動、そして、多くの市民も参加して下さっている新河岸川と柳瀬川のク

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■新座RC 毎週(木) 12:30～13:30 ベルセゾン  
■富士見RC 毎週(金) 12:30～13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041  
事務局 049-251-6596

2342-5◇  
志木RC会報

リーン作戦です。

かつての新河岸川は、猫がごみの上を歩いて渡れるくらい汚れていたもので、きれいにしようと志木クラブが提唱し、今の川街につながっています。ここ3か年はコロナの影響で志木市によるクリーン作戦自体が中止を余儀なくされていますが、今年の10月には再開されると予想されますので、ご協力をよろしくお願い致します。

ところで、ロータリー会員数の推移を見ますと、2570地区で約10年前の2011年度が1733人、5年前の2016年度では1637人、2022年の現在では、1585人となり、約10年で148人が減り、8.5%の減少です。

志木クラブでは、10年前が49人、5年前が47人、そして一昨年からマイナス5人となり、現在は41人となってしまう、約16%の減少です。減少率を地区と比較すると、2倍近くになっているのが現状です。

さらに、志木クラブの記念誌「創立15年史」、「30年史」、「40年史」に掲載されている「歴代会員の一覧表」を見てみると、創立からの15年間で会員総数が107人、創立30年で169人ですから30年までの15年間では、169-107で62人増、1年間あたりの平均加入数は約4.1人でした。その後、創立40年で総数186人ですから、10年間で17人増、1年間の平均加入数は1.7人、現在の50周年時では、正会員で202人ほどと聞いておりますので、直近10年間の平均加入数は、1.6人と減少しています。つまり、新規加入数を年平均で見ると、20年前の実績値・4.1人と比較して、ここ20年では、年あたり1.7か1.6人ですから、実に6割以上減少している状況が分かり、由々しき事態だと思われま。

そうした会員減少の傾向、とりわけ1年あたりの新会員加入数が極めて減少している傾向を踏まえ、今年度の村田ガバナーからの問

いかけに応じていくためにも、私の今年度のクラブテーマについて、冒頭にお話ししたとおり、「新たな一歩」といたします。

以前の活気あふれる西川ガバナーによる活躍の時代が過ぎ、会員減少がとまらない状況を鑑みると、景気の後退もあります。コロナ禍により会員同士のふれあいが極端に減少したことも影響しているでしょう。クラブ創立半世紀を経て、次の半世紀、100周年の未来を想像してみると、伝統ある志木ロータリークラブを持続可能なものにしていくためには、今や、ここ数年の取り組みにかかっているといても過言ではありません。繁栄の一步となるか、衰退の一步となるか、まさに岐路に立っていると思います。

それぞれのメンバーの会社の事業承継については、当然自分のこととして、真剣に向き合い、考えているテーマです。しかしながら、志木クラブの承継については「誰かが何とかしてくれるだろう」程度にしか私も含め、真剣に考えてこなかったのではないかと反省をしております。つきましては、会員増強の仕組みも含め、今後のクラブを若い方々へ承継していくこともしっかりと考える1年にしたいと思います。

桜の木の寿命は一般的に60年といわれます。一方で、志木クラブのメンバーが中心となって守っているチョウショウインハタザクラの原木は、樹齢400年以上といわれています。数えきれないほどの年輪を重ね、今でも新芽をしっかりとつけ、志木市に根を張っている、その姿を見ると感慨深いものがあります。栄養を吸収するために確固たる根をはって、新芽を増やしていかなければ木は成長できません。

「志木ロータリークラブ」という、まさに「志」を持った木を次世代に承継していく、永く持続可能なものにできるか否かは、私た

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■和光 21 幸魂ロータリー衛星クラブ 第2第4(土) 13:00～ 和光市中央公民館 事務局 048-465-0088

ちのここ数年の意識と行動にかかっているのではないのでしょうか？

さて、持続可能といえ、前年度、清水会長が SDGs 委員会を立ち上げました。SDGs について、一般社団法人の SDGs 市民社会ネットワークの理事で、事務局長の新田恵理子さんは、SDGs が「なぜ必要なのか、再認識せざるを得ない」と言っています。

その「再認識せざるを得ない」ことは何か？といえますと、「このままでは、日本、世界、地球までは持続不可能」で、地球温暖化によるこれまでみなかったような風水害、また、コロナやウクライナ紛争が発生し、多くの人々が実感し始めているということです。また、2015年に、国連が SDGs を訴えたアジェンダの 50 節に、「我々は貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。同様に、地球を救う機会を持つ最後の世代にもなるかも知れない」と書いてあります。私は、「最後の世代になるかもしれない」と国連が言っていることに驚いたところです。国連にはもっと頑張ってもらいたいところですが、いずれにしても、SDGs の取り組みは、日常生活で「もうみんなやっているよ」ということではなく、何が最優先の課題なのか？を考えていく一年にしていきたいです。

最後に、会長テーマとしました「新たな一歩」について、一歩を踏み出し、近い将来の新たな礎をつくるために、親睦プラス増強、新たな一歩とは何かを考える一年にしたいと思います。具体的な行動は 3 つです。

まず一つ目は、会員同士のふれあい促進のきっかけづくりのためにも、老・壮・青のつながり強化のためにも、感染症に注意しながら親睦活動を強化し、そのための「炉辺活動」を活発化していただきたい。十杯のお茶より 1 杯の酒と聞きます。地域の飲食店の応援も図りながら、大いにコミュニケーションを活

性化してください。

二つ目は、会員増強の見直しです。推薦人の想いを尊重しながら、広い視野、広い心も持って、対象を広げ、正会員の増強を図っていかねばなりません。女性会員も大歓迎です。さらには、対象者の裾野を広げ、社会奉仕活動などについて、新たな考え方、アイデアを取り入れるためにも、賛助会員の制度づくりも考えていく必要があるのではないのでしょうか？

そして、三つ目は、コロナによって、会員の顔が見られない、話を聞けることが極端に減った現状であることから、例会時に「会員フリースピーチ」をお願いしたいと思います。輪番制でテーマは自由、3 分から 5 分程度の会員スピーチにより、メンバー各位の「顔と言葉」をくださいますよう、ご協力をお願いします。

以上、3 つの取り組みへのご協力をお願いしました、その訳は、かつての西川ガバナー時代のような活気を取り戻し、より楽しいクラブにしていくことを目標として、現在の優秀なメンバーが多くいる中で、5 年先、10 年先に向けて再びガバナーを輩出できるような志木クラブにしたいからです。

また、SDGs を捉えながら、川街のような志木クラブならではの、社会奉仕活動の新たな柱を見出していきたいからです。岩下委員長率いる SDGs 委員会もコロナ禍を乗り越え、いよいよ方向性をつくっていただけることに期待が高まります。

結びに、将来へ向けての希望の一歩となるために、1 分 1 秒前の自分を少しでも超えていけるよう、考え・努力することをお誓い申し上げ、会長アワーの挨拶といたします。

●出席報告 出席向上委員長 内田栄信		
会員数41名	出席義務者38名	免除者3名
本日出席 37名	本日欠席 5名	本日出席率 90.00%
前々回 MU (4名中0名)	前々回修正出席率 87.80%	平均出席率 88.73%